

## マーケットの動き（2026年5月11日～5月15日）

先週の国内債券市場は、前週末比で金利は上昇しました（債券価格は下落）。米国とイランの戦闘終結に向けた交渉が進展せず原油価格が上昇し、物価の上振れ懸念が広がったことに加え、12日に公表された4月の日銀金融政策決定会合の「主な意見」を受けて利上げ観測が強まり、債券は売られました。週末には、政府が補正予算の編成を検討していると報じられ、財政悪化懸念から超長期債を中心に売りが広がり、新発10年物国債利回りは一時約29年ぶりの高水準となりました。

クレジット市場は、起債が本格化するなかで、ハイブリッド債を中心に堅調に推移しました。

## 投資環境見通し（2026年5月）

## 国内長期金利に対する上昇圧力はかかりやすい

日銀は4月の金融政策決定会合で、中東情勢や原油価格高騰の経済・物価に対する影響を見極める姿勢を示し、政策金利を据え置きつつも、利上げに対する前向きな姿勢を維持しました。同時に公表した展望レポートでは、物価見通しを前回から大幅に引き上げました。中東情勢を巡る先行き不透明感や原油価格の高止まりによるインフレ懸念に加え、財政拡張政策を受けて、国内長期金利に対する上昇圧力はかかりやすいとみています。

	5月15日	変動幅（騰落率）			
		前週比	1カ月前比	6カ月前比	1年前比
10年国債利回り（日本、%） （変動幅）	2.72	0.24	0.32	1.02	1.25
NOMURA-BPI総合 （騰落率）	324.72	▲1.41%	▲1.76%	▲5.17%	▲6.36%

※期間別騰落率の各計算期間は、基準日から過去に遡った期間の応答日（休日の場合は前営業日）までとします。

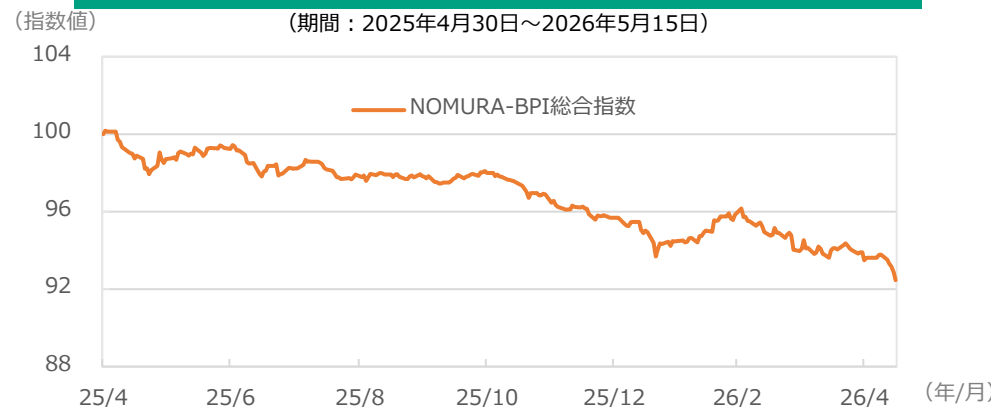
※最新の「投資環境見通し」もご覧ください。

[https://www.myam.co.jp/market/outlook/upload\\_pdf/202605\\_outlook.pdf](https://www.myam.co.jp/market/outlook/upload_pdf/202605_outlook.pdf)

## 日本国債利回りの推移



## NOMURA-BPI総合指数の推移



※2025年4月30日の値を100として指数化

※出所：FactSetのデータを基に明治安田アセットマネジメント作成

●当資料は、明治安田アセットマネジメント株式会社がお客様の投資判断の参考となる情報提供を目的として作成したものであり、投資勧誘を目的とするものではありません。また、法令にもとづく開示書類（目論見書等）ではありません。当資料は当社の個々のファンドの運用に影響を与えるものではありません。●当資料は、信頼できると判断した情報等にもとづき作成していますが、内容の正確性、完全性を保証するものではありません。●当資料の内容は作成日における当社の見解に基づいており、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また予告なしに変更することもあります。●投資に関する最終的な決定は、お客様自身の判断でなさるようお願いいたします。●当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらに関する著作権等の一切の権利は、それらを作成・公表している各主体に帰属します。●使用インデックスについては、マーケット見通し（総合）の最終ページをご確認ください。<https://www.myam.co.jp/market/report>